

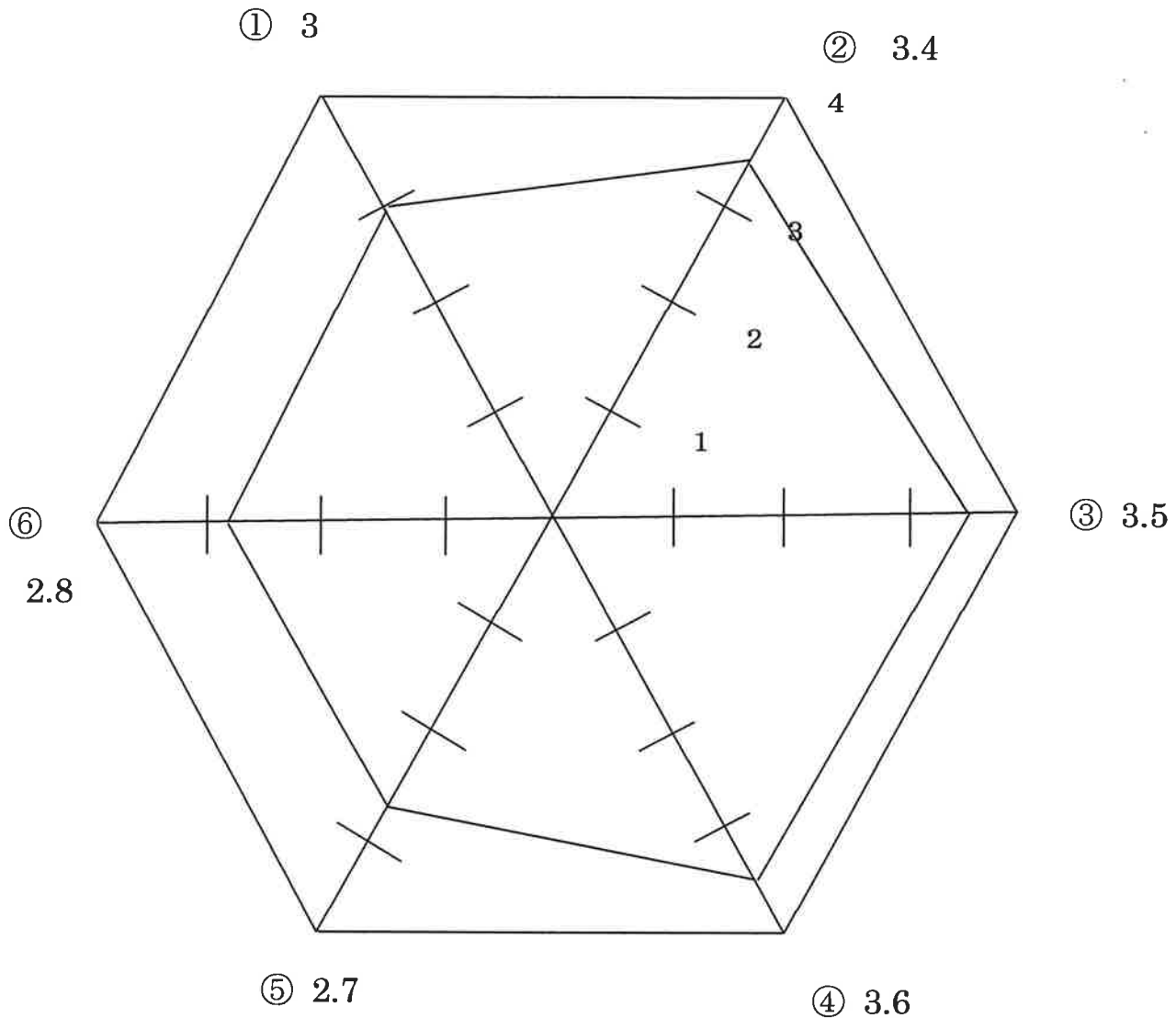
令和7年度 《教職員向け自己評価表のまとめ》

長岡天徳・聖母幼稚園

組(担任・副担任・補助・給食・事務・バス) 年齢別担当(0・1・2・3・4・5) 氏名

(評価例) 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

評価項目	内容	評価	課題と今後の解決法	
① 保育の計画性	園の理念・教育要領・教育課程	●園の建学の精神や理念、教育目標を理解している	3.2	・園の理念を職員間で話し合える場を増やすと共に命を大切に にする。仲良く優しく友達とかかわれる様な援助に続けてい く。 ・教育要領を確認しながら指導案等の作成をし、実施に望む。
		●教育要領を読み、園理念の理解とあわせて園長や 保育者と話し合う	2.8	
		●指導計画は、教育要領・教育課程そして幼児の実態に 即して作成し、周囲の状況や変化に対応できるものと している	3	
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある 環境を構成する	3.3	
		●幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や遊具に 配慮し、必要な数量を用意する。	3.2	
		●幼児の発達を見通し、より豊かな活動が展開できるよう 環境を再構成する	2.9	
		●園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた 環境の構成をする	3.2	
評価・反省	●自己の保育についての評価・反省をさまざまな観点から 行う	3.1		
	●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に 活かしている	2.6		
② 保育のあり方 幼児の対応	健康・安全	●日頃から園内の危険箇所に対応する	3.7	・当たり前の環境の中にも一人ひとりを見ると危険性が違う事 を念頭に事故、ケガにつながらない様にする。
		●毎日の園児の健康視診を大切にする	3.7	
		●事故や怪我が発生した場合は迅速に適切な処置を行 う	3.5	
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.5	
		●幼児同士のかかわりの姿から、個々の成長発達をふま け見直しをもって理解する	3.3	
	指導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.5	
●規範意識・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がけ る		3.3		
●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする		3.1		
③ 保育者の 資質・能力	姿勢 能力 義務 組織	●ふさわしい清潔感のある服装、髪型、身だしなみを心が ける	3.7	・全職員、教師として、社会人として責任ある行動をとれる様 努力する。 ・一人では子どもを保育できない。全員で共有しながら互いを 感謝しながらチームワークで子どもを見守りたい。
		●職務上の情報等の秘密を守秘する	4	
		●社会人の常識をわきまえ、行動する	3.9	
		●教職員組織の協調性を大切にし、チームとしての自覚を 持つ	3.7	
		●率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努め る	2.9	
		●当番や役割業務など、課せられた仕事は確実に 行う	3.7	
		●保育者としての感性・教養を深める	2.9	
④ 保護者への 対応	対話 交流 クレーム対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	3.4	・保護者の言葉を進撃に受け止める様心がける。 ・クレームは園長を主に全員で話し合い、受け止め対応する。 (共有する時は正確な情報伝達する必要がある)
		●保護者からの相談や要望をよく聞くよう心がける	3.4	
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外で も対応できるように努める	3.7	
		●電話での対応は、わかりやすく真摯な対応に努める	3.4	
		●保護者からの話で、自分で判断出来ない場合は、園長 主任等に報告、連絡、相談をする	3.9	
		●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し 共通理解のうえで対応する	3.7	
		●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し 共通理解のうえで対応する	3.7	
⑤ 地域・自然 人との かかわり	地域・自然 社会との 連携 かかわり	●地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	2.9	・散歩の中には社会性、自然、生きる力、心など成長の要素 が含まれている大切な活動である。 ・小学校との関わりをたくさん持つ事で学校理解につなげたい。 ・たくさんの教師で計画し、内容を深められたら良いと思う。
		●地域の人々とあいさつや会話を交わし、親睦に心がけ る	3.1	
		●小学校の教育内容について理解するよう努める	2.5	
		●地域の小学校行事や公開授業等に関心をもち 参加する	2.3	
		●子育て支援や地域開放について、内容を理解する	2.7	
		●子育て支援や地域開放について、教職員全体で取り組 む	2.6	
⑥ 研修と 研究	研修・研究への 意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題をもって積極的に参加す る	3.1	・自己課題を持って研修に望む事に欠けている。多くの研修 に参加する事も大切であるが、一つ一つの研修を大切にす る事が希薄になっている。 ・自分にとってどんな研修が必要なのか、研修が生きた学びと なり、保育につながる様にする。 ・研修だけに頼らず、仲間同士の話し合いや保育を振り返る 事も質の向上につながる。 ・毎日の保育の中からも気づきが見いだせれば、子どもの状 態、成長がわかる。
		●自分の保育について自己課題をもって研究を行う	2.8	
		●自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や 主任、園長に相談する	2.9	
	保育者としての 専門性に関する 研修・研究	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に生かす研修・ 研究を行う	3.3	
		●記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	2.6	
		●教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・ 研究を行う	2.9	
		●実践に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を 行う	2.9	
		●幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・ 研究を行う	3	
		●保護者への対応に関する研修・研究を行う	2.6	
		●地域社会との交流に関する研修・研究を行う	2.2	
	今日的課題に 関する 研修・研究	●組織内の協力・連携に関する研修・研究を行う	2.6	
		●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について理 解する	3.4	
		●預かり保育や子育て支援について研修する	2.5	
●幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	2.6			
●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性 について研修する	3.2			
●社会情勢について関心をもち、研修する	2.8			



※平均点を出して、六角形を作ってください。

総合所見と来年度の課題と目標

- ・地域との関わり、自然との触れ合いに欠ける。(保育者の工夫一つでクリア出来るかと考える)
- ・自己課題をもったの保育、研修の向き合い方が弱い。その為、学んだ事を日々の保育に生かしきれない。
- ・活動がマンネリ化しない様あらゆる方面からの情報を取り入れ質の高い保育につなげる。
- ・忙しい時の保育ほど心のゆとりを持ち、安心・安全の保育に心がける。
- ・細かな子ども達の情報を共有し大切にする。
- ・子どもを見る目、保育、関わりを丁寧に、感謝の気持ちを忘れない。

給食

- ・食への興味を引き出したい。
- ・安心安全な給食の提供
- ・アレルギー対策を確実に行う。